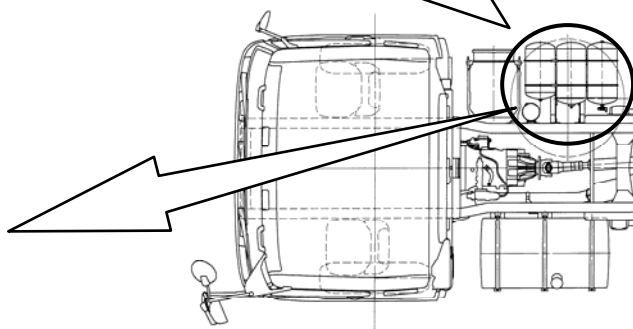
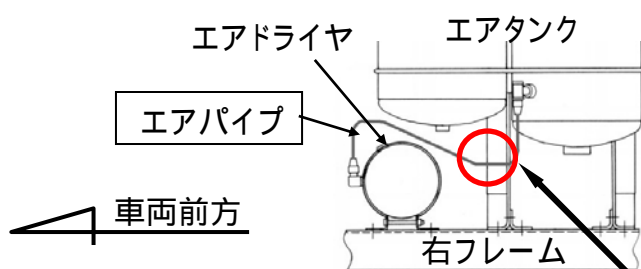


改善箇所説明図



基準不適合箇所

ブレーキ用エアパイプの取り回しが不適切なため、悪路等の走行による大きな振動を受けると、当該パイプに高応力が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用が続けると、当該パイプに亀裂が発生してエアが漏れ、最悪の場合、亀裂が拡大し、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該エアパイプを点検し、対策品が未装着の車両については、エアパイプを対策品と交換する。

注：□ は、交換部品を示します。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラー스트ライカ付近に「HD-28」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。